



Adventure Travel World Summit Virtual Hokkaido, JAPAN 報告書

令和4年（2022年）5月 24日
アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道実行委員会

目次

1. Adventure Travel World Summit 2021 Hokkaido, JAPAN
2. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 概要
3. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN アジェンダ
4. 記者公開及びHPについて
5. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 総括
6. ATWS2023成功に向けて

1. Adventure Travel World Summit 2021 Hokkaido, JAPAN

ATWS2021 Hokkaido, JAPAN

ATWS北海道／日本について

- ・ 日程 令和3年(2021年)9月20日(月)～23日(木)
- ・ 主会場 札幌市内 (札幌コンベンションセンター)
- ・ 参加者 各国の旅行会社、メディア、政府観光局 等
※2019年大会は約60カ国800人が参加

開催イメージ

	内容
大会前	Pre Summit Adventure (道内・道外) (4泊程度の体験ツアー (任意))
1日目	Day of Adventure (全員参加の日帰りAT体験ツアー)
2日目	オープニングセレモニー、各種講演、ワークショップ、 市内見学・体験ツアー 等
3日目	マーケットプレイス (商談会)、各種講演、市内見学 等
4日目	メディアコネクト (商談)、クロージングセレモニー 等
大会後	Post Summit Adventure (完全招待客のうち最大40名の招聘ツアー)

過去の開催実績

2016	アンカレッジ (米)
2017	サルタ (アルゼンチン)
2018	トスカーナ (伊)
2019	ヨーテボリ (スウェーデン)
2020	アデレード (豪) ※中止
2021	北海道

ATWS2021 Hokkaido, JAPAN

北海道大会で実施を予定していたツアーの例

PSA (22本)

- 日本最北の地を目指して 上川・宗谷カヌーとサイクリング (難易度 3)
- 大雪山周遊～ガイド付き登山ツアー (難易度 4)
- 東北の東西食の巡礼：歩く・食べる・出会う旅 (難易度 3)
- 訪れるべき四国を代表する海と山と川を E バイクで巡る旅 (難易度 3)



DOA (29本)

- 東川ディスカバリー：日帰りガイド付きサイクリングツアー (難易度 2)
- ニセコアンヌプリ：サイクリング&トレッキング (難易度 3)
- 天上の湿原 雨竜沼湿原秘境トレッキング (難易度 3)
- 都会の近くで発見！ウトナイ湖の大自然満喫ツアー (難易度 2)



ATWS2021 Hokkaido, JAPAN

ADVENTURE TRAVEL TRADE ASSOCIATION ABOUT US NEWS SERVICES EVENTS LEARN MEMBERSHIP Subscribe Join

20-24 Sep 2021
Virtual - Online
Price: \$349 USD
Business Member Price: \$299 USD
Marketing: \$750 USD

ADVENTURE TRAVEL WORLD SUMMIT VIRTUAL HOKKAIDO, JAPAN 20-24 SEPTEMBER 2021

HOME FAQ SUSTAINABILITY REGISTER

REBIRTH, REBUILDING, A REASON FOR BEING...

It is time for our global community to gather again – and for 2021 we are officially announcing the Adventure Travel World Summit will be held **VIRTUALLY**. By having a Virtual Summit we can accommodate all our adventure travel communities to come together in a safe, affordable, and productive environment. The Virtual Summit will be hosted by Hokkaido, Japan on 20-24 September 2021 (dates shift slightly depending on your time zone). The event will include: inspirational speakers, virtual adventures from Japan, B2B networking, interactive expert-led sessions, and an opportunity for our community to gather globally.

The past year, while undeniably challenging, has also offered us an opportunity to gain surprising insights about our industry, and refreshing innovation and ideas to pursue our mission of building the adventure travel category in tourism. Among the actionable insights we're bringing from a year of virtual events to our first ever Virtual Adventure Travel World Summit include:

- Global participation and connections among people who share core values
- Innovative ways to explore our natural curiosity in adventure travel
- Unlimited opportunities to include new audiences and cultures

We look forward to unveiling a whole new approach to the Summit. We invite you to join the ATTA community for the first Virtual Summit and the first Adventure Travel World Summit in Asia as we celebrate a reason for being!

参考 : ATTA HP(<https://www.adventuretravel.biz/events/summit/japan-2021/>)

アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2021北海道について、主催者であるアドベンチャートラベル・トレードアソシエーション(ATTA)から「バーチャル開催」とするとの公式発表(2021年5月6日)

1. 開催方法

バーチャル開催

2. 開催期間

令和3年(2021年)9月20日(月)～9月24日(金)

3. 主な内容(予定)

基調講演

バーチャルアドベンチャー

(日本のAT素材の動画配信)

B to B ネットワーキング

(商談会)

コミュニティラウンドテーブル

(意見交換会) ほか

2. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN概要

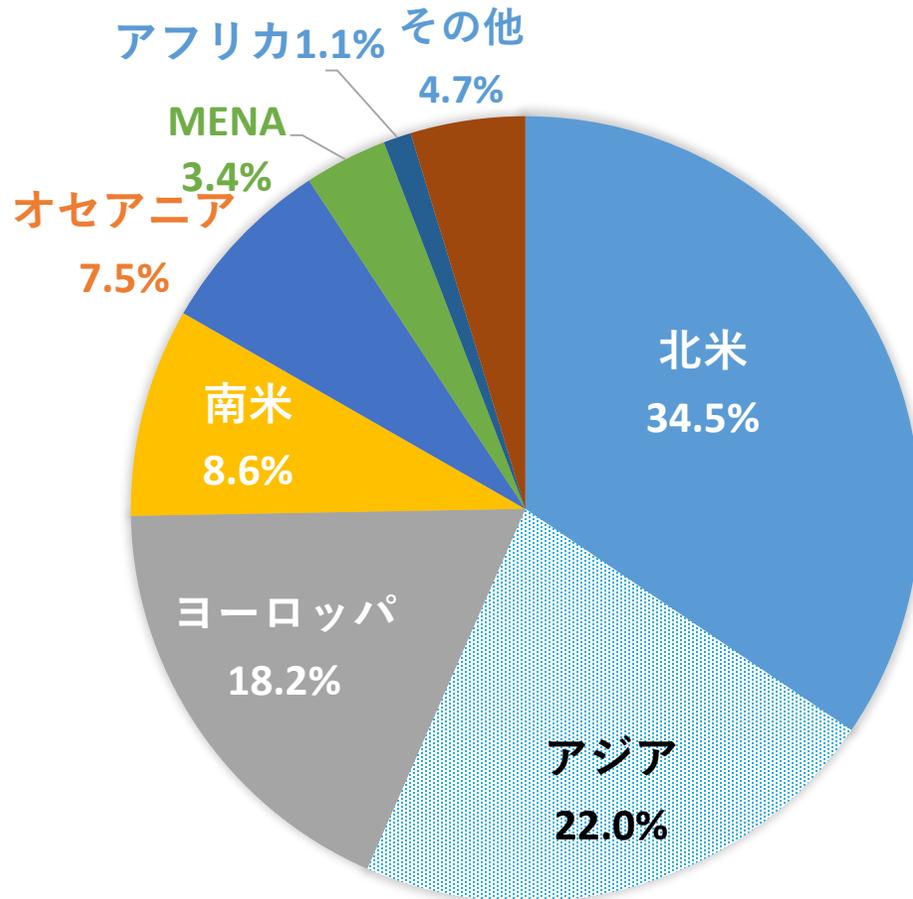
ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 概要

主催者	アドベンチャートラベル・トレードアソシエーション（ATTA）
参加者	欧米豪を中心に58ヶ国から旅行会社・メディアなど617名の事業者等が参加
期間	9/20～9/24 ＊北米、欧州及び日本の時差を考慮し、全4日間のプログラムを翌日に再放送する。
内容	Virtual Event Platform “Eventtia”によるオンライン開催。オープニングセレモニー、開催ホストである国土交通大臣・北海道知事挨拶、日本のアドベンチャーコースの紹介、各種講演、分科会、商談会、北海道の魅力を紹介する北海道アドベンチャー等をオンラインにより実施。
テーマ	共生 Kyosei
MC	高田健右氏 （日本アドベンチャーツーリズム協議会事務局）
参加費	349USD（Business Member Price:299USD） Marketplace750USD
その他	・ミーティング予約件数：2050セッション ・合計ウェブ閲覧数：9021ページ



ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者

参加者のエリア内訳



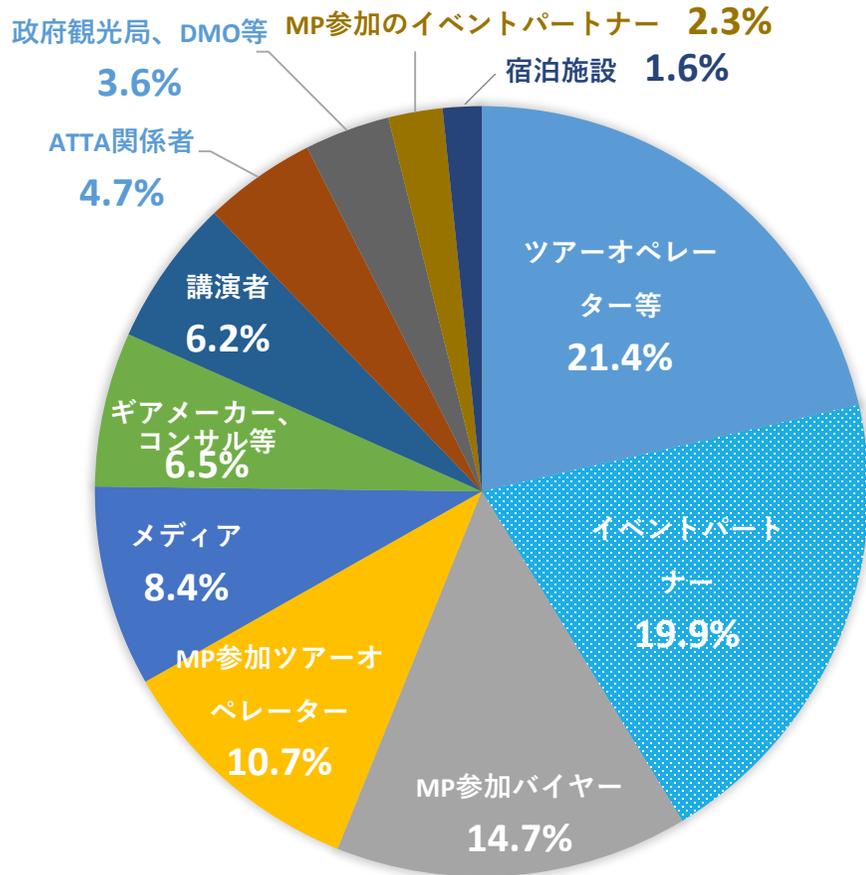
n=617 (単位：人)

北米	213
アジア	136
ヨーロッパ	112
南米	53
オセアニア	46
MENA	21
アフリカ	7
その他	29

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者

参加者の業種別内訳

n=617 (単位：人)



Supplier (ツアーオペレーター等)	132
Event Partner (イベントパートナー)	123
Buyer (マーケットプレイス参加のバイヤー)	91
Supplier (マーケットプレイス参加のツアーオペレーター等)	66
Media (メディア)	52
Industry Partner (ギアメーカー、コンサル等)	40
Speaker (講演者)	38
ATTA Team (ATTA関係者)	29
Destination (政府観光局、DMO等)	22
Event Partner (マーケットプレイス参加のイベントパートナー)	14
Accommodation (宿泊施設)	10

Day1

オープニングセレモニー“SUMMIT WELCOME”

概要：ATWSのオープニングセレモニー

[日本関係箇所]

- 国土交通大臣挨拶
- 北海道知事挨拶
- Virtual Japan Adventureの紹介映像（2分）放映



Day1-4

Virtual Japan Adventure *詳細は次頁のとおり

概要：

- 会期中毎日30分×2本の映像を放映
- PSA、サミット開催地であった札幌市、ポストサミットアドベンチャー開催地であった釧路市を映像で紹介



ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 北海道／日本関係箇所

Virtual Japan Adventure

	タイトル	PSA番号	代表的な撮影地
# 1	EASTERN HOKKAIDO - THE WILD FRONTIER	PSA7、PSA13、KUSHIRO CITY	阿寒、摩周、知床、網走、釧路市
# 2	MAINLAND JAPAN'S SOUTHERN ISLANDS	K-01、K-02、S-01	九州、屋久島、四国
# 3	SOUTHERN HOKKAIDO	PSA6、PSA10、PSA12	函館、大沼、洞爺湖、黒松内
# 4	DAISETSUZAN NATIONAL PARK	PSA9、PSA15	大雪山国立公園、然別湖
# 5	AKAN MASHU NATIONAL PARK & BEYOND	PSA2、PSA3、PSA8	阿寒摩周国立公園
# 6	SOUTH & CENTRAL HOKKAIDO	PSA4、PSA5、SAPPORO CITY	日高管内、上川管内、札幌市
# 7	MAINLAND JAPAN & MT. FUJI	PSA C-01、T-01、N-01	東北、長野、静岡
# 8	NORTHERN HOKKAIDO	PSA 1、PSA11、PSA14	上川管内、宗谷管内

Day4

プレナリー# 7“CELEBRATING HOKKAIDO”

概要：北海道／日本の魅力を参加者に説明するもの

- ① 日本政府観光局（JNTO）による日本/北海道紹介
- ② 秋辺日出男氏（阿寒アイヌ工芸協同組合専務理事）による講演
- ③ 北海道知事メッセージ動画



Day2-3

Marketplace

概要：

- ビジネス商談会
 - バイヤー（各国のアウトバウンドツアーオペレーター、ホールセラー、トラベルアドバイザー等）とセラー（ATに取り組むインバウンドツアーオペレーター、ATTAメンバーの宿泊施設）が商談を行う
- ① 9/21（火） 21:00～23:00：日本,北米,南米,欧州
 - ② 9/22（水） 20:00～22:00：日本,北米,南米,欧州
 - ③ 9/22（水） 10:00～12:00：日本,オセアニア,北米（西海岸）

Day3-4

Mediaconnect

概要：

- メディアとのビジネス交流会
- サミットのオフィシャルメディア（国際的な旅行ジャーナリスト、編集者、インフルエンサー、ブロガーなど）と1対1で交流

① 9/22（木） 17:00～19:00 ② 9/23（木） 17:00～19:00

Day1-4

Hokkaido Lounge, Japan Lounge

概要：

- ATWS会期中に設置されるオンライン上のラウンジ
- 北海道／日本のAT商品を手掛ける旅行事業者等を紹介し、造成したAT商品を広く紹介



ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day1

ORIENTATION オリエンテーション	515
SUMMIT WELCOME サミットウェルカム	537
KEYNOTE: OUR NATURE 基調講演「私たちの自然」	227
USING INTELLIGENT DATA TO TRANSFORM TOURISM EXPERIENCES 分科会「インテリジェントデータを活用して観光体験を変革する」	239
BRINGING ABOUT A CARBON-FREE TRAVEL FUTURE 分科会「カーボンフリーの未来を実現するために」	177
EQUITABLE & ETHICAL STORYTELLING IN ADVENTURE TRAVEL 分科会「A Tにおける公平で倫理的なストーリーの伝え方」	271
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #1: EASTERN HOKKAIDO -THE WILD FRONTIER バーチャル・ジャパン・アドベンチャー① 道東ーワイルドフロンティア	238
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #2: MAINLAND JAPAN'S SOUTHERN ISLANDS バーチャル・ジャパン・アドベンチャー② 南日本の島々	187
KEYNOTE: TOMORROW'S TRAVEL 基調講演「明日の旅」	251

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day2

KEYNOTE: INSIGHTS INTERVIEW 基調講演「インサイト・インタビュー」	318
PRACTICING KYOSEI IN BUSINESS グループ討論「ビジネスにおける共生」	137
SPOTLIGHT ON DOMESTIC TRAVEL グループ討論「国内旅行にスポットライトを当てる」	69
NEW TRAVELER BEHAVIORS & EXPECTATIONS グループ討論「新しい旅行者の行動と期待」	204
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #3: SOUTHERN HOKKAIDO バーチャル・ジャパン・アドベンチャー③ 南北海道	163
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #4: DAISETSUZAN NATIONAL PARK バーチャル・ジャパン・アドベンチャー④ 大雪山国立公園	129
KEYNOTE: CHADO: THE WAY OF TEA 基調講演「茶道」	209

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day3

KEYNOTE: PASSIONATE PEOPLE -HEARTS IN THE ICE 基調講演「情熱的な人々－氷の中のハート」	364
BUSINESS RESILIENCE THROUGH COLLABORATION グループ討論「コラボレーションによるビジネスの回復力」	150
COMMUNITY TOURISM グループ討論「コミュニティツーリズム」	79
VACCINES AND COVID-SAFE TRAVEL グループ討論「ワクチンとコロナ－安全な旅行」	137
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #5: AKAN MASHU NATIONAL PARK & BEYOND バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑤ 阿寒摩周国立公園とその周辺	151
VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #6: SOUTH & CENTRAL HOKKAIDO バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑥ 道南と道央	109
KEYNOTE: ON THE ROAD OF CONSERVATION 基調講演「保全への道」	172
FILM SCREENING: FOOD, EARTH, HAPPINESS フィルム上映「食、地球、幸福」	68

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN 参加者数

Day4

KEYNOTE: CELEBRATING HOKKAIDO

基調講演「セレブレイティング北海道」

235

FROM SOURCE TO SELLING: THE COMMUNITY IMPACT OF OUTDOOR GEAR

分科会「アウトドアギアがもたらす コミュニティへの影響」

94

HIGH MOMENTS, LOW IMPACT: RETHINKING ADVENTURE TRAVEL'S
SUSTAINABILITY EFFORTS

分科会「アドベンチャートラベルの サステナビリティへの取組を再考する」

167

VALUES-DRIVEN BUSINESSES REACHING NEW AUDIENCES

分科会「新たな顧客を獲得する価値観重視のビジネス」

95

VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #7: MAINLAND JAPAN & MT. FUJI

バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑦ 本州と富士山

137

VIRTUAL JAPAN ADVENTURE #8: NORTHERN HOKKAIDO

バーチャル・ジャパン・アドベンチャー⑧ 道北

127

KEYNOTE: SURVIVAL

基調講演「サバイバル」

226

3. ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN アジェンダ

ATWS VIRTUAL Hokkaido, JAPAN アジェンダ

日本時間	西海岸時間	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目
		9月20日(月)～21日(火)	9月21日(火)～22日(水)	9月22日(水)～23日(木)	9月23日(木)～24日(金)
17:00～19:00	1:00～3:00				メディア交流会
21:00～23:00	5:00～7:00		オンライン商談会		
22:30～22:45	6:45～7:00	オリエンテーション			
23:00～23:15	7:00～7:15	サミットウェルカム 国交大臣・知事挨拶、ティザー放映、 ハニスコPresident挨拶			セレブレイティング北海道 ①JNTOIによる日本紹介 ②秋田日出男氏講演 ③知事メッセージ
[全体会合] 23:15～23:45	7:15～7:45	基調講演 「私たちの自然」	基調講演 「インサイト・インタビュー」	基調講演 「極地における情熱的な人々」	
23:45～0:00	7:45～8:00	休憩	休憩	休憩	休憩
[分科会] 0:00～1:00	8:00～9:00	「インテリジェントデータを 活用して観光体験を変革する」 「カーボンフリーの未来を 実現するために」 「ATにおける公平で倫理的な ストーリーの伝え方」	グループ討論 「ビジネスにおける共生」他	グループ討論 「ワクチンとコロナ:安全な旅行」他	「アウトドアギアがもたらす コミュニティへの影響」 「アドベンチャートラベルの サステナビリティへの取組を再考 する」 「新たな顧客を獲得する 価値観重視のビジネス」
1:00～1:30	9:00～9:30	バーチャルジャパン アドベンチャー① 阿寒、摩周、知床、網走、釧路市	バーチャルジャパン アドベンチャー③ 函館、大沼、洞爺湖、黒松内	バーチャルジャパン アドベンチャー⑤ 阿寒摩周国立公園	バーチャルジャパン アドベンチャー⑦ 東北、長野、静岡
1:30～2:00	9:30～10:00	バーチャルジャパン アドベンチャー② 九州、屋久島、四国	バーチャルジャパン アドベンチャー④ 大雪山国立公園、然別湖	バーチャルジャパン アドベンチャー⑥ 日高管内、上川管内、札幌市	バーチャルジャパン アドベンチャー⑧ 上川管内、宗谷管内
[全体会合] 2:00～3:00	10:00～11:00	基調講演 「明日の旅」	基調講演 「茶道」	基調講演 「保全への道」 フィルム上映 「食、地球、幸福」	基調講演 「サバイバル」 クロージングセレモニー 主催者挨拶
10:00～12:00	18:00～20:00		オンライン商談会		

Day1 Summit Welcome (サミット・ウェルカム)

(1) “SUMMIT ORIENTATION”

サミットオリエンテーション

(JST 9/20 (月) 22:45-23:00/ PST 9/20 (月) 6:45-7:00)

アンバー・シルビー部長によるATWSのオリエンテーション

- Eventtiaの使い方



(2) “SUMMIT WELCOME”

オープニングセレモニー

(JST 9/20 (月) 23:00-23:15 / PST 9/20 (月) 07:00-07:15)

ケーシー・ハニスコ会長挨拶

「(新型コロナウイルスによる)不確実で困難な時代において、私たちの役割は、観光が環境、社会、経済の公益に寄与できることを実証するリーダーである。具体的には、地域経済のため新商品の開発やオンライン販売をする、地元の子供に気候変動について教育するなど。サミットでネットワークを築く際には、こうしたストーリーに耳を傾けることを推奨する。また、日本はアメリカと異なり、個人よりもコミュニティを尊重するため、ATTAおよび全ての人に適合することが可能である。当サミットで日本のアドベンチャーを感じ、日本のホストに会い、仮想のアドベンチャーを体験することを願っている。」

Day1 Summit Welcome (サミット・ウェルカム)

(2) “SUMMIT WELCOME” オープニングセレモニー

(JST 9/20 (月) 23:00-23:15 / PST 9/20 (月) 07:00-07:15)

赤羽国土交通大臣挨拶

「多様な野生動物や食物をもたらす日本の四季、北海道の雄大な自然、これらはアドベンチャーツーリズムの宝庫である。サミットのテーマである共生とは、お互いに利益をもたらすこと。アイヌが具体化した「自然が人類に生命を与え、その見返りとして自然を守る」という概念はアドベンチャートラベルにも通ずる。共生をテーマにした様々なイベントを通して皆様の絆を深め、意見交換をし、有意義な体験としていただきたい。実際に皆様を日本および北海道でお迎えできることを心待ちにしている。」

鈴木北海道知事挨拶

「北海道には四季折々の自然、多様なアクティビティ、アイヌなど固有の歴史や文化、美味しい食や温泉といった魅力あるコンテンツが多数存在する。期間中は、準備したアドベンチャーコースの中から選りすぐりのものを『バーチャルジャパンアドベンチャー』として毎日放映するほか、特設コーナーも設け、情報提供や質問の受付も行う。」

Virtual Japan Adventureの紹介映像放映 (2分)



Day1 Keynote (基調講演)

(3) KEYNOTE: OUR NATURE 基調講演「私たちの自然」

(JST 9/20 (月) 23:15 -23:50 / PST 9/20 (月) 07:15 -07:50)

「私たちは皆、どこかの国の先住民です。深く掘り下げなくても、私たちの生活様式や身体、文化に価値観や伝統が組み込まれている土地や人々の中に、自分のルーツを見つけることができます。しかし、ほとんどの人は、会社を繁栄させるために努力する中で、先住民の知恵が求める価値観や自然を中心としたライフスタイルから離れてしまったように感じています。」

今回のATWSのテーマである「共生」に基づく「無限の可能性」、「探求」、「希望」、「社会の再生」について講演した。

【要旨】

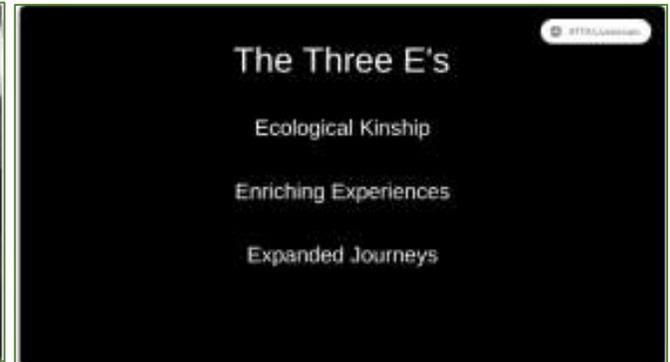
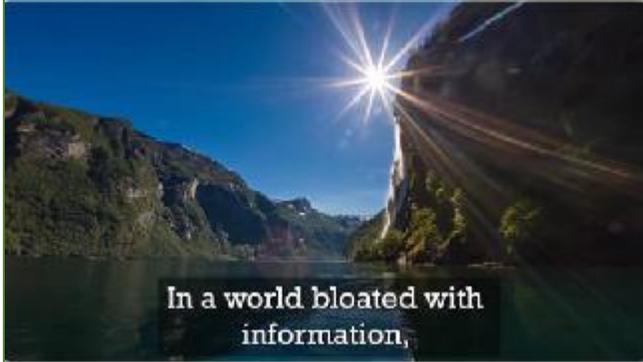
- 私たちは、再定義や再生、復活の可能性を秘めた新しい時代、ルネサンスの入口に立っている。
- パンデミックによって生活が破壊されているが、同時に、知恵や知性、慈しみによって再構築する機会でもある。
- 世界の先住民と同様、アイヌの人々の知恵は古来の価値観を取り戻すための指針になり、彼らの価値観と哲学は、私たちのすべての行いにおいて、相互に有益な育成 – 人々と土地を尊重し、保護し、繁栄させる持続可能な育成 – を生み出す潜在的能力があることを強く想起させる。
- 観光が先住民族の文化と環境に壊滅的な影響を与えるのを目にした。
- 私がRegenerative Travel (再生旅行) において重要だと考えるのは3つの「E」。すなわち、
Ecological Kinship (生態学的な親族関係)
Enriching Experiences (豊かな経験)
Expanded Journeys (拡張された旅)

Day1 Keynote (基調講演)

(3) KEYNOTE: OUR NATURE 基調講演「私たちの自然」

(JST 9/20 (月) 23:15 -23:50 / PST 9/20 (月) 07:15 -07:50)

- パンデミックは、人生がどれほど貴重で束の間のものであるかを知らしめた。そして、人々はこれまで以上に、愛する人との思い出を作る有意義な体験を必要としている。
- パンデミックが引き起こしたロックダウンにより、スロートラベル、デジタル・ノマディズム、ロードトリップなどが増加した。
- 人々は意味のある経験を望んでおり、地域と積極的に交流し、持続可能かつ有意義な方法で地域社会を支援したいと考えている。
- 旅行には、心に触れ、心を変え、世界に影響を与える力がある。再生のルネサンスの限界点で、あなたは「より良い復興」を実現する可能性を秘めている。
- 最も重要なのは、アイヌの人々のように、あなたが知恵で私たちの道を照らし、善のための力になれるということ。



講師 : Dr. Elizabeth Kapu'uwailani Lindsey | National Geographic Explorer

ナショナルジオグラフィック協会史上初のポリネシア人探検家であり、女性フェロー。文化人類学者であり、数々の賞を受賞した映画監督。先住民の知恵の保護者として、また、社会的、環境的、文化的正義の擁護者として、広範囲に旅をしている。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-1 USING INTELLIGENT DATA TO TRANSFORM TOURISM EXPERIENCES

「インテリジェントデータを活用して観光体験を変革する」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

現在のデータ環境では、ビジネスにおいても規制においても、倫理基準の遵守とオープンで透明性の高い実践が求められています。COVID-19からの復旧作業の効果を測定するためにモビリティアナリティクスを使用することで利益を得るデスティネーションレベルの意思決定者、土地管理者、観光事業のリーダーは、自信を持って情報に基づいた意思決定を行うことで、ソリューションの一部とならなければなりません。

本セッションでは、冒険家、生物学者、環境保護活動家であるマイク・ウェリング氏を講師に迎え、オーストラリア政府がデータのギャップを埋めるために行った取り組みにより、地理空間データを利用して観光や小売の動向をリアルタイムで把握し、経済、環境、文化的なパフォーマンス指標を通じた観光の影響を360度見渡すことができることを紹介した。また、ATブランドがどのようにデータを利用して商業的、社会的、環境的な要因を考慮したビジネス戦略を行っているかを検証し、より強く持続可能な観光産業を構築するために自分が果たすべき役割を明確にした。

講師

Mike Welling : Founder & CEO at WEJUGO and Hemisphere Digital

データとテクノロジーの変換価値に関する知識を天然資源部門に応用し、野生の場所の人的価値を強化する手段として、責任あるアウトドア・レクリエーションへのコミュニティの参加を促進するために、Wejugoを設立。

Robert Taylor : CEO at WAITOC

2015年にWAITOCのCEOに就任。アボリジナル・ツーリズム開発プログラムを成功させ、西オーストラリア州全体で39の新しいアボリジナル・ビジネスを成長させた。これらのビジネスは、新たな雇用を創出し、資金援助プログラムの一環であるGo Cultural Aboriginal Tours and experiencesで全国アボリジナル・ツーリズム賞を受賞。

Cameron Crowe : Sustainability at Wejugo

2002年にオーストラリアでLeave No Traceアウトドア・レクリエーション・ミニマル・インパクト・プログラムの共同創設者となった。DIDMSのダイバックマッピングがデジタルアプリWejugoに組み込まれ、生物多様性の地理空間データと訪問者の移動データを試験的に使用して、環境・レクリエーション資産の管理と訪問者へのメッセージ発信を改善した。



Day1 Concurrent (分科会)

(4)-1 USING INTELLIGENT DATA TO TRANSFORM TOURISM EXPERIENCES

「インテリジェントデータを活用して観光体験を変革する」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

講師：

Mike Welling (MI) : Founder & CEO at WEJUGO and Hemisphere Digital

Robert Taylor (RO) : CEO at WAITOC

Cameron Crowe (CA) : Sustainability at Wejugo

- (MI) 5年前、アドベンチャーを求める人々の情報共有コミュニティが必要だと考えWEJUGOを立ち上げ、2年前にオーストラリア政府が2030年の成長戦略を検討するにあたり従来の国内企業やマーケットリサーチでは、現場とのギャップがあったので、観光業のインテリジェントデータのイノベーションにより、私たちは機会を得ることができた。環境問題、社会問題や地域に与える影響など、観光業全体の対策が求められており、私たちの作った地理空間データ分析プラットフォームは、人々の動き、交流、購買動向のデータの提供を通じて、観光業に与える影響についての情報の提供が目的です。一番重要なのは、これはパーパス・ドリブン（目的に導かれる）であり、社会成果を重視したビジネスであるという点です。
- (MI) 企業にとって、今後は「影響報告 (impact reports)」が財務報告よりスタンダードなものになることを望む。
- (CA) 気候変動も大きな問題だが、生物多様性も世界が直面している大きな問題で、テクノロジーによって、私たちが環境に与える影響をより明白、正確に調査できることを望む。
- (RO) 「影響報告 (impact reports)」のスタンダード化には間違いなくパーパス・ドリブンだ。先住民地域では、特にこのようなプラットフォームやデータ分析が必要。
- (MI) 今のところオーストラリア国内のみ使用可能で、国際的なプラットフォームとなるためにはデータの制限などにより非常に難しいが、いずれそうなることに興味を感じている。
- (RO) 西オーストラリアのアボリジニツーリズムにおいて、若いアボリジニの方々は、デジタルに精通しているが、多くの若者たちは観光事業者ではないということが問題で、今はデジタル技術を教えてくれる若者に頼っている。
- (RO) アボリジニが先住民として認められたのは、1967年の国民投票でした。それまでは人ではなく動植物のように扱われ、ビジネスを行うことも認められていませんでした。そのため、家族が行っていたビジネスを引き継ぐようなこともできませんでした。私たちはゼロから長い旅を始めたようなものなのです。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-2 BRINGING ABOUT A CARBON-FREE TRAVEL FUTURE

「カーボンフリーの未来を実現するために」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

移動、宿泊、買い物、食事など、旅行に関わるすべての要素が二酸化炭素を排出し、世界の温室効果ガス排出量に大きく影響している。旅行業界は、「脱炭素化が困難な分野」の一つとして広く知られているが、未来への情熱を持った創造的で起業家的な人々によって支えられている革新的な分野でもある。このセッションでは、最初から製品に脱炭素を組み込んだ先見性のある新しいデスティネーションや、炭素除去を提唱する主要な学術機関のパネリストを迎え、炭素のない旅行の未来を創造するための重要なトピックを探った。

講師

Christina Beckmann : Vice President, Global Strategy at ATTA

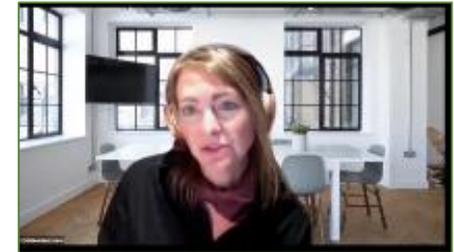
ATが環境、コミュニティ、野生動物、ビジネスにもたらすさまざまなポジティブな影響を強調しながら、デスティネーション・パートナーのための戦略的ソリューションを構築・提供するために、部門横断的なチームをリード。また、アドベンチャービジネスへの投資を促進し、業界全体の拡大を支援するための業界調査の立案と実施を担当。

Eli Mitchell-Larson : Advisor | DPhil Candidate at University of Oxford | Carbon Direct

オックスフォード大学を拠点とする気候研究者・実務家。主な研究テーマは、安全で耐久性の高い炭素貯蔵により、世界的なネットゼロエミッションを実現する技術と政策の拡大。ネット・ゼロ戦略や炭素除去のコンサルティングは、旅行、投資、エネルギー分野で行われており、自然に基づいた気候変動対策と、それぞれのリスクを軽減するための人工的な対策を最適にバランスさせたカーボン・オフセット戦略の策定なども行う。最近では、炭素除去に関するアドバイザーや投資家として、MicrosoftやShopifyなどを顧客に持つCarbon Direct社に参加。

Andrew McEvoy : Head of Tourism at NEOM

NEOM社の観光部門の責任者として、多様な自然の生息地と豊かな歴史的遺産が明日の観光に出会う、世界で最も野心的なデスティネーション開発をリード。25年以上に渡り、観光、メディア、デジタルマーケティング、eコマースの分野で役員および非役員としての経験を積む。NEOMに入社する前は、オーストラリア政府観光局のマネージング・ディレクター兼CEOなど、観光業界で輝かしい経歴を持ち、在職中には、オーストラリア政府観光局の2020年戦略の策定と実行を監督し、10年以内に国内の観光収入を倍増させるという大きな成功を収めた。



Day1 Concurrent (分科会)

(4)-2 BRINGING ABOUT A CARBON-FREE TRAVEL FUTURE

「カーボンフリーの未来を実現するために」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

講師：

Christina Beckmann (CH) : Vice President, Global Strategy at ATTA

Eli Mitchell-Larson (EL) : Advisor | DPhil Candidate at University of Oxford | Carbon Direct

Andrew McEvoy (AN) : Head of Tourism at NEOM

- (CH) 「観光業にまつわる気候変動の原因と、観光業を営む私たちができる洞察に基づいた解決策」がこの分科会のテーマで「カーボンフリートラベル」の未来を創造するための重要なポイントについてお話ししたい。
- (EL) 旅行業は、「クライメートポジティブ」(“Climate Positivity” : 温室効果ガスの排出量より、削減する量を多くすること) について可能性を秘めているが道のりは長い。場所や時期を問わず、できる限り温室効果ガスの排出を削減し、残りの排出量を除去することにフォーカスしていく必要がある。
- (AN) NEOMは、科学に基づいた指標を基にした行動を念頭に置き、170kmの都市から車と車道をなくすことにより炭素排出量をゼロにし、NEOM内の自然環境の95%を保護することも発表し、持続可能な社会づくりに大きな貢献をしている。
- (CH) 温室効果ガス排出の点から飛行機は悪者にされがちだが、宿泊施設、食事、肉食など全てが影響する。
- (EL) 世界の温室効果ガス排出量500億トンのうち3%は旅客機によるもので急速に増加している。長時間のフライトの代替え手段がないため排出軽減が困難だが、ユナイテッド航空などはCO2直接回収を始めている。大きな課題だが、フライトを止めるのではなくカーボンゼロを進めるべき。
- (AN) 観光業全体では8%位を占めるのでは。より環境にやさしい機体の開発を進めているにもかかわらず航空業界は責められ過ぎと思う。
- (EL) 温室効果ガス排出ゼロが目標だが、やむを得ず排出する場合の除去のため千年単位での貯蓄場所確保が必要。貯蔵期間が長期にわたる理由は、CO2が空気中に長時間留まる物質だからで、父母、祖父母が排出したCO2も未だ空気中に残っている。大気中のCO2をすべて取り除くのなら、長期にわたり全くCO2を排出しないことが必要。生態系回復には10万年後まで考えるべきだが多くの場合できていない。
- (EL) 人類が石油を掘り出すようになってから、生物地球化学的な炭素循環のみでは不十分になったので、大気中からのCO2直接回収と地中貯留を始める必要がある。
- (AN) 旅行業の観点から、例えば旅行者に「Regenerative Receipt」を発行し、地域雇用増加やカーボンオフセットが実現ができれば、罪の意識なく旅行を過ごすことができる。楽しめる要素として提供することが必要。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-3 EQUITABLE & ETHICAL STORYTELLING IN ADVENTURE TRAVEL

「ATにおける公平で倫理的なストーリーの伝え方」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

エキゾチックな場所（たいていは新興国）を紹介する同じようなストック写真、伝統的な衣装を身にまとった「地元の人々」の怠惰な表現、決まりきった願望やインスピレーションの引用など、私たちはこれまでにすべてを目にしてきた。そしてさらに悪いことに、これらの中には問題のあるものもある。AT業界のリーダーとして、私たちはもっと良いものを作ることができる。このワークショップでは、世界の文化やコミュニティに関する有意義なコンテンツを流用するのではなく、敬意と配慮に深く根ざした方法で作成する方法について、入門編を提供した。

また、販売やマーケティングで使用する画像や言葉の力関係を解明し、多様性と表現のために真剣に「歩く」こと、そして私たちが行く場所とその途中で出会う人々についての倫理的なストーリーを促進するために私たちの力を活用することが重要なポイントとなった。



講師 : Justine Abigail Yu | Founder at Living Hyphen

Living Hyphenの創設者であり、ハイフネーションを持つカナダ人、つまりカナダを故郷としながらも他の場所にルーツを持つ人々が、文化の間で生きるこの意味を探るコミュニティとマルチメディアプラットフォーム。また、受賞歴のあるライティングワークショップのファシリテーターでもあり、その作品はYahoo!ニュース、NextShark、CTV National News、CBCなど、国内外のメディアで紹介されている。

Day1 Concurrent (分科会)

(4)-3 EQUITABLE & ETHICAL STORYTELLING IN ADVENTURE TRAVEL 「ATにおける公平で倫理的なストーリーの伝え方」

(JST 9/20 (火) 00:00 -01:00 / PST 9/19 (月) 08:00 -09:00)

講師 : Justine Abigail Yu | Founder at Living Hyphen

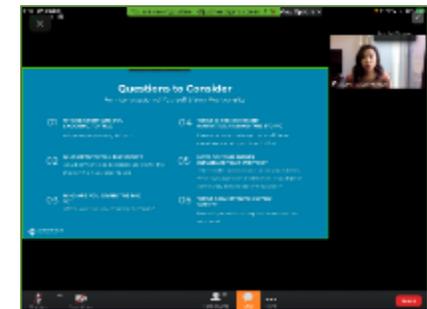
・倫理的で公平なストーリーテリングを、私たちの執筆に具体的に統合できる方法は？

1. 様々な声を増幅させること。体系的または歴史的に排除された別の側面や言葉は少数しか存在しない。
2. 一般化（標準化）を避ける。特定の国に存在する可能性のある多数の民族、部族、文化、方言を無視しないことが重要。
3. 異文化や人々のコミュニティに独自の解釈を投影することに注意。その場所の独自の解釈を予測せず、より良い時間や趣のある時間の典型的な比喩に頼らないようにすることはとても重要。
4. アイデンティティのさまざまな関わり注意。その複雑さとニュアンスのすべてをストーリーテリングに取り入れることで、はるかに豊かで説得力のあるストーリーが生まれる。
5. 抑圧的な言葉は知識の限界を表すだけでなく知識を制限する。ストーリーを語るうえで大切なことは、公平的であること、倫理的であること、ストーリーテラーとしての特権を考慮すること。
6. 写真には1,000の言葉の価値がある。旅行業界では旅行熱を醸造するために画像に大きく依存しており、写真撮影では私達の反抑圧と公平の実行がより重要。

・考慮すべき質問

- a. 何について、もしくは誰を撮影しますか？どんなストーリーを選びましたか？
- b. 写真の中心にいるのは誰ですか？行動を主導するのは誰ですか？
- c. ボディーランゲージとポジショニングはどのような物語を語っていますか？
- d. このような写真を撮りたいですか？（あなたの主題の尊厳を支持し、保護しますか？）
- e. 写真フレームに何を含める事を選択しますか？（誰を切り抜きますか？なぜですか？）
- f. この写真を撮る許可を求めましたか？
 - ・「あなたは写真を撮るのではなく作るのです」byアビゲイル・アダムス（写真家）
 - ・ 永続的な固定観念を避け、単一の物語の危険性に注意。国、文化、人々を1つのストーリーまたは1つの視点に限定せず、ストーリーテリングで複雑さを表現し、複雑さを捉えていることを確認すること。
 - ・ 様々な文化の古代の伝統をロマンチックに見せていないかに注意。
 - ・ この18ヶ月で私達の生活は劇的に変化したが、この業界に根付いている様々な構造を再設計または再構築するための始まり。

※旅行や文化のクリエイター向け抑圧防止ツール <https://sheswonderful.com/equit>



Day1 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(5)-1 VIRTUAL ADVENTURE #1: EASTERN HOKKAIDO -THE WILD FRONTIER 道東 -ワイルドフロンティア

(JST 9/21 (火) 01:00 -01:30 / PST 9/20 (月) 09:00 -09:30)

PSA7 : 「地の果て・シリエトク (知床) 」を目指すサイクリングツアー (宝島旅行社 / オホーツク)

PSA13 : 道東の三国立公園を巡るワイルドライフ探索ツアー (宝島旅行社 / 釧路・根室)

釧路市プロモーション

収録地 :

- ・釧路湿原 (釧路市) PSA13
- ・阿寒アイヌコタン等 (釧路市)
- ・神の子池-ハイキング (清里町) ※PSA外
- ・屈斜路湖-カヌー (弟子屈町) PSA13
- ・網走湖-カヤック (網走市) PSA7
- ・大曲湖畔公園-収穫体験、ピザ作り (網走市) PSA7
- ・能取湖、天都山 (網走市) PSA7
- ・天に続く道-サイクリング (斜里町等) PSA7
- ・来運神社-ハイキング (斜里町) PSA7
- ・知床五湖-ハイキング (斜里町) インタビュー/オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課知床分室 吉澤主幹 PSA13
- ・知床半島-ハイキング (斜里町) インタビュー/SHINRA 畑谷ガイド PSA13
- ・郷土料理 武田-食事 (標津町) インタビュー/郷土料理 武田女将 PSA13

視聴者の声 :

「私はここでたくさんのストーリーを見るトラベルジャーナリストです。いつかコンタクトします！」「行ってみたい」「個人的には驚を見てみたい。とても美しい」等

Day1 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(5)-2 VIRTUAL ADVENTURE #2: MAINLAND JAPAN'S SOUTHERN ISLANDS 南日本の島々

(JST 9/21 (火) 01:30 -02:00 / PST 9/20 (月) 09:30 -10:00)

K-01 : 世界自然遺産の屋久島で黒見岳登山とリバーアクティビティ ((株)JTB 福岡支店 / 九州)

K-02 : 阿蘇・高千穂で火山の息吹と自然の恵みを体感する旅 ((株)JTB 福岡支店 / 九州)

S-01 : 訪れるべき四国を代表する海と山と川をEバイクで巡る旅 (四国ツアーズ(株) / 四国)

収録地 :

- ・高千穂峡-ハイキング (宮崎県高千穂町) K-02
- ・霧立越トレイル-ハイキング (宮崎県五ヶ瀬町) インタビュー/霧立越の歴史と自然を考える会 秋元治会長K-02
- ・阿蘇山-サイクリング (熊本県南小国町) K-02
- ・下城きこの園 (熊本県南小国町) インタビュー/下城きこの園 下城社長K-02
- ・溶岩トンネル-ハイキング (熊本県阿蘇市) K-02
- ・世界自然遺産エリアネイチャーウォーク (鹿児島県屋久島町) K-01
- ・YAKUSHIMA BLESS (鹿児島県屋久島町) インタビュー/YAKUSHIMA BLESS金田代表K-01
- ・栗生川カヤック&シャワークライミング (鹿児島県屋久島町) K-01
- ・本坊酒造 (鹿児島県屋久島町) K-01
- ・華ひめ楼 (愛媛県松山市) インタビュー/華ひめ楼 田中さんS-01
- ・大三島-サイクリング (愛媛県今治市) インタビュー/WAKKA 村上社長S-01
- ・石鎚山-サイクリング (愛媛県久万高原町/愛媛県西条市) S-01
- ・UFO-LINE-サイクリング (高知県いの町) S-01
- ・仁淀川-SUP (高知県いの町) インタビュー/SUGGOI SPORTS 佐々木社長S-01
- ・いの町紙の博物館 (高知県いの町) インタビュー/和紙職人 北岡氏S-01
- ・亀泉酒造 (高知県土佐市) インタビュー/亀泉酒造 西原社長S-01

視聴者の声 :

「このバーチャルアドベンチャーは素晴らしい！ 私たちに素晴らしいコーナーを共有してくれてありがとう」「九州はATのたくさんのポテンシャルがある」等

Day1 Keynote (基調講演)

(6) KEYNOTE: TOMORROW'S TRAVEL 基調講演「明日の旅」

(JST 9/20 (火) 02:00 -03:00 / JST 9/19 (月) 10:00 -11:00)

アドベンチャーツーリズムの起業家、イノベーター、デスティネーション開発者、ストーリーテラー、そして関連業界のクリエイティブで自由な発想の持ち主にとって、新たな領域を開拓することは生きがいでもある。2020年に停止した観光の善と悪の強力なモメンタムにより、多くの人が旅行の未来のための実践、目標、ビジョンを評価することができた。その一つが、自然と融合し、テクノロジーによって進化するビジョンである。NEOM (New Future) は、自然と調和した人間の進歩を加速させることで、新しい生活様式と新しい旅の方法を開拓しており、この持続可能な生活のための新しいモデルを紹介した。

- NEOMはサウジアラビア王国が打ち出したVISION2030の一部である巨大プロジェクト。
- 観光はその土地にとって、容易にネガティブなものになり得るため、私たちは観光部門と緊密な関係を保ち、自然保護区の設計や自然体験について協働している。
- 私たちは観光業界と協力して、NEOMを訪れる全ての人々のFOOTPRINT（資源の消費や廃棄物の排出などの痕跡）を算出して、これらを防ぐことができる計算システムを構築する予定。
- NEOMが切望しているのは「未来の場所」になることで、私たちにとっての未来とは、人間と自然が調和して暮らす場所を意味する。そしてその最善の方法がFOOTPRINTを抑制すること。
- 自然保護は伝統的に人を閉め出すことで行われてきたが、NEOMは排除ではなく包括によって達成することを望んでいる。
- NEOMは写真を撮るだけの場所ではなく、自然保護に参加し、誇りを感じることができる場所。
- NEOMは近い将来、皆さんの素晴らしい体験の一部になる場所となるでしょう。私たちと一緒に、NEOMという旅にご参加下さい。



講師 : Paul Marshall | Head of Nature Region at NEOM

NEOMの自然地域の責任者であるポールは、NEOMの95%を保護するためのビジョンと戦略を主導し、自然と調和した開発というNEOMの目標を実現するための基盤となる資産として、自然地域の管理と紹介を確実に行う責任を負っている。またそれ以前は、NEOMの最高環境責任者を務めていた。

NEOMに入社する前は、環境問題に対する革新的なソリューションを生み出すことを専門とするReef Ecologic社のマネージングディレクターを務めていた。

Day2 Virtual Marketplace (商談会)

(1) Virtual Marketplace 商談会

- ① JST 9/21 (火) 21:00 -23:00 / PST 9/21 (火) 05:00 -07:00
- ② JST 9/22 (水) 00:00 -02:00 / PST 9/21 (火) 08:00 -10:00
- ③ JST 9/22 (水) 10:00 -12:00 / PST 9/21 (火) 18:00 -20:00

1. 内容：各地域とバイヤーがリアルタイムで商談を実施。

2. 参加事業者：道内事業者9社

- (株) 北海道宝島旅行社
- (株) JTB
- (株) 日本旅行北海道
- ANAX (株)
- (株) 近畿日本ツーリスト北海道
- (株) ジャルパック
- 東武トップツアーズ (株)
- (株) ニセコリゾート
- 阿寒アドベンチャーツーリズム (株)

3. 商談数

道内9事業者が計51回の商談を実施

4. 実施率が低かった理由

- ① 時差
- ② バイヤー等がほかの地域とのミーティングを優先
- ③ テクニカルイシュー

Day2 Virtual Marketplace (商談会)

5. 参加者の声

- 動画も多くご覧いただけたと判り、安心した
- テーラーメイドやスモールグループを取り扱うバイヤーが多かった
- 文化体験を絡んだATの方が販売しやすいのでは、という印象を受けた
- 旅行会社に集中してリクエストを送っていたため、事前マッチング数が少なかった。メディア等にも広げて、もう少しリクエストを出せば良かった。また欧米時間でも対応できるというアピールをすれば良かったと感じている
- フォローメールに1件反応あり。他にも引き続きアプローチしていきたい
- ATというよりは、まず日本を売ってみたいという意向を感じた。少しずつでもATを絡めて造成していきたい
- ロングホールのデスティネーションのため、2週間くらいのツアーで、観光をしながらアドベンチャーや文化体験を入れたいという声が多かった
- モデルコースについて、季節やE-Bike 使用についての質問等があった
- インドの事業者から、インドのお客様を受けてもらえるかと聞かれたのが印象的
- 他県も含めた商品造成ができるかと聞かれた
- ソフトアクティビティのリクエストが多いように感じた
- 北米欧州がメイン。個人経営等小規模のエージェントが多い印象
- マーケットプレイスはNo Showが課題。また、プロフィールで相手の情報がよく分からず、商談時に深い話ができなかった。
- サイクリング を扱う旅行会社が多いように感じた
- 事前にEventtiaでトライアルの商談ができたのは良かった
- No Showや直前キャンセルが多く、不安になった
- 追加リクエストを出したがペンディングで残り、その時間に予定を入れられなくなった
- 相手はオールジャパンとしての対応を望んでいた 等

6. サミット後の商談状況

- ① 大会終了後、海外の事業社にアプローチした社数：65社
- ② ①のうち回答のあった社数：18社
- ③ ②のうち現在商談進行中の事業者数：4社

Day2 Keynote (基調講演)

(2) KEYNOTE: INSIGHTS INTERVIEW 基調講演「インサイト・インタビュー」

(JST 9/20 (火) 23:00 -24:00 / PST 9/20 (火) 07:00 -08:00)

Travel Weeklyの編集長であるアーニー・ワイズマンが、さまざまなトピックについてジェシカと対談した。

- 最も興味深かった国やアクティビティは、アフリカと中東。私は人々が考える「やりたいことリスト」よりもディープな文化体験をすることを望む。
- 今日ではたくさんの女性が一人旅をしており、一人旅の方がより深く美しい体験ができると思う。また、欧州や南米を旅する黒人は以前より増えている。興味深いのは、私がウガンダのパスポートを見せるとオーバーステイしようとしていると疑われ、アメリカのパスポートを見せると偽物だと疑われることもあるが、このため世界中の入国管理官と興味深い交流ができた。
- パンデミックの影響で、明らかに旅行の頻度が落ちた。COVIDとともに移動しないよう、要求されていない場合でも2週間ごとにCOVIDのテストを受け、回数は50回を超え、ワクチンも接種した。
- 旅行は数兆ドル規模の世界的な業界であり、そこで働く人々は経済的に苦しんでいる。政府が行くべきではないという場所に行くべきではないけれど、安全を確保しながら特定の経済に貢献する方法があると思うし、あなたにも出来る方法があると思う。
- 気候変動に対して、脆弱なのは私たちが地球にダメージを与えた国以外のその他の国々。
- 多くの旅行者が、ある政府への不同意を「その国への訪問をボイコットする」ことで表現するが、政府が行っていることを理由に私が旅行をしない国はない。なぜならボイコットは現地の人々を助けることにはならないし、現地の人々をサポートする組織などにお金を払っても、彼らにはほとんど届かないが、現地での旅行に支払った対価は個人レベルの経済的影響を与えるから。

講師：

Jessica Nabongo | Traveler at The catch me if you can

作家、起業家、旅のインフルエンサー。世界のすべての国を訪れたことを記録した最初の黒人女性。ミシガン州デトロイトでウガンダからの移民の子として生まれ育ったジェシカは、6歳のときにロンドンとウガンダへの初めての海外旅行を経験。世界中を旅し、一般的に観光客が少ない国での体験を伝えることに情熱を注いでいる。

Arnie Weissmann | Editor in Chief at Travel Weekly

Travel Weekly編集長、Travel Weekly親会社（ノーススター社）の上級副社長兼編集責任者。30年以上にわたり、旅行ジャーナリズムに携わる。公共放送サービスのテレビ番組「The Travel Detective」のレギュラーコトリビューターでもあり、彼のコメントはNBC、CNN、BBC、Sky News、NPRにも使用されているほか、ニューヨーク・タイムズ、ウォール・ストリート・ジャーナル、USAトゥデイなどのメディアにも引用されている。



Day2 Round Table (グループ討論会)

(3) Round Table グループ討論会

(JST 9/22 (水) 00:00 -01:00 / PST 9/21 (火) 08:00 -09:00)

コミュニティ・ラウンドテーブルは、イベントのテーマに関連する重要なトピックについて、参加者が少人数のグループで積極的に議論する場であり、多くの参加者がセッションに参加し、画面を共有したり、チャットを入力したりするなどして、複数のトピックについて互いに意見を交わした。ラウンドテーブルは、世界のさまざまなタイムゾーンから参加できるように、生放送で行われた。

○ PRACTICING KYOSEI IN BUSINESS 「ビジネスにおける共生の実践」

ファシリテーター：Jorge Perez | Owner at Tierra del Volcan

(持続可能な開発の推進者であり、ATを提供するTierra del Volcan社の創設者、エクアドル・エコツーリズム協会の元会長、ATTAアンバサダー等)

共生のバランスを保つための私たちの役割、具体的な方法などを話し合った。

○ SPOTLIGHT ON DOMESTIC TRAVEL

「国内旅行にスポットライトを当てる」

ファシリテーター：Greg Klassen/Partner at Twenty31 Consulting Inc.

(旅行・観光業界の戦略家であり、カナダの国家観光機関であるデスティネーション・カナダのCMO兼CEOなどの経験者)

国内旅行やアウトドアレジャーの急増、観光産業の回復に向けた準備と予測を行った。

○ NEW TRAVELER BEHAVIORS & EXPECTATIONS 「新しい旅行者の行動と期待」

ファシリテーター：Ana Duek | Director at Viajar Verde

(ブラジルの旅行ジャーナリストで、持続可能な観光に焦点を当てたウェブサイト「Viajar Verde」の代表、ATTAアンバサダー)

コロナによる旅行者の新たな要求、行動の変化、期待への影響に市場関係者がどのように対応しているか、傾向を紹介した。



Day2 Round Table (グループ討論会)

(3) Round Table グループ討論会

JST 9/22 (水) 00:00 -01:00 / PST 9/21 (火) 08:00 -09:00

○ PRACTICING KYOSEI IN BUSINESS 「ビジネスにおける共生の実践」 ファシリテーター : Jorge Perez | Owner at Tierra del Volcan

- 今日は『共生』というコンセプトを観光業界でどう実践できるかについて話し合いたいと思う。
- このコンセプトをどのように地域のコミュニティと共有できるか。ゲストに帰国後も日常生活で実践してもらうにはどうすれば良いか。
- 共生は通常人間と自然の間だけでなく、業界内の競合他社や公的機関との間にも必要で、他のツアーオペレーターや公的機関と協力して、自然や野生動物を守らなくてはならない。
- 共生は人間と自然の間だけでなく、異なる組織間でも実践されるべき。
- ポリシーの策定には政府との協力が必要で、その最も素晴らしい例がナミビアにある。ナミビアは政府が管理する国立公園を地域コミュニティが管理する私有の保護地に変更した。これにより地域コミュニティが収入を得る機会が生まれ、彼らが野生動物を管理する責任を担うようになった。
- ポジティブとネガティブの両面で、私たちが与える影響を測定する必要がある。
- 2つめのコンセプトは教育。私たちの課題の一つは、ゲストを教育すること。
- 私たちの業界のために、知識を共有し、責任を持ち、より理解することが重要。
- 私たちはゲストにユニークで非常に大きな影響を与えることで、彼らを一変させることができる。私たちがコミュニティとしてどう実践すべきか、あるいはゲストをどう巻き込むべきか、もう少し探求してほしい。
- 今日私たちが話したコンセプトはスロートラベル、ローカルのように旅行すること、そして仕事、休暇、ワーケーションの機会。ゲストを教育することの重要性。
- 危機は、成長や変化、新しい物事に挑戦する絶好の機会。この業界が直面している最大の危機であるパンデミックも、これらの新しいモデルにとって良い機会となる。
- また、誰でも使える共通の計算・測定システムを作ること、地域のビジネスを奨励し協働すること、サプライヤーの技術スキルと商品品質の向上を支援することも重要。
- 私たちが環境等に与える影響をその地域 (Destination) でオフセットすることは、私たちができる最善のこと。
- 私たちには廃棄物削減や自然保護、影響の測定など改善できる余地が多く残されています。持続可能な開発、責任ある観光、再生可能な観光等等など、やるべきことはたくさんある。それらを実践する最も良い方法は多様性、教育、そして知識の共有である。



Day2 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(4)-1 VIRTUAL ADVENTURE #3: SOUTHERN HOKKAIDO 道南

(JST 9/22 (水) 01:00 -01:30 / PST 9/21 (火) 08:00 -08:30)

PSA6 : 洞爺湖から日本海へ ～ガイド付きサイクリングツアー(宝島旅行社 / 後志・胆振)

PSA10 : 洞爺湖有珠山ジオパーク&黒松内ローランド・アドベンチャー(宝島旅行社 / 後志・胆振)

PSA12 : 火山が造った箱庭・大沼カヌーツーリング～カヌー&農山漁村交流(宝島旅行社 / 渡島・檜山)

収録地 :

- 函館市内-ウォーキング (函館市) PSA12
- 函館山-ハイキング (函館市) PSA12
- 昆布漁体験、出汁取り体験 (鹿部町) PSA12
- 函館市内-ウォーキング/幸寿司、箱館醸造 (函館市) ※PSA外
- 米農家インタビュー (北斗市) インタビュー/農家 木村氏 ※PSA外
- 大沼公園-カヤック (七飯町) インタビュー/イクサンダー大沼カヌーハウス代表 渡辺ガイド(知事認定アウトドアガイド・カヌー) PSA12
- ふぁーむいん富田-ポテトチップス作り (黒松内町) インタビュー/農家民宿 富田氏 PSA10
- ウポポイ紹介 (白老町) PSA10
- 洞爺湖有珠山ジオパークガイドツアー (洞爺湖町等) インタビュー/ Sotoasobu代表 江川ガイド (知事認定アウトドアガイド・自然) PSA10
- 洞爺湖-サイクリング (洞爺湖町等) PSA6
- ふきだし公園-サイクリング (京極町) PSA6
- 登別地獄谷-ハイキング (登別町) PSA6
- 羊蹄山-サイクリング (ニセコ町) PSA6
- 歌オプナ林-ハイキング (黒松内町) インタビュー/黒松内町観光協会事務局長 本間ガイド PSA10
- かき小屋 (寿都町) PSA10

視聴者の声 :

「今すぐ味噌汁が飲みたくなった」「北海道の更なる探索に感銘を受けました」「北海道に行くのが待ちきれない」「お寿司が好き」「素敵！」等

Day2 Virtual Japan Adventure (バーチャル・ジャポン・アドベンチャー)

(4)-2 VIRTUAL ADVENTURE #4:

DAISETSUZAN NATIONAL PARK 大雪山国立公園

(JST 9/22 (水) 01:30 -02:00 / PST 9/21 (火) 08:30 -09:00)

PSA9 : 大雪山周遊 ～ガイド付き登山ツアー(宝島旅行社 / 十勝・上川)

PSA15 : 大雪山国立公園唯一の自然湖「然別湖カヤック&トレッキング」(日本旅行北海道 / 十勝)

収録地 :

- 大雪山国立公園(旭岳)-ハイキング (東川町) インタビュー/TREE LIFE 荒田ガイド(知事認定アウトドアガイド・夏山・冬山) PSA9
- 然別湖-カヤック (鹿追町) インタビュー/北海道ネイチャーセンター 代表坂本ガイド(北海道アウトドアガイド資格制度業務センター 代表) PSA15
- 白雲山-ハイキング (上士幌町) インタビュー/北海道ネイチャーセンター 島田ガイド(知事認定アウトドア・自然・カヌー) PSA15
- 然別ネイチャーセンター-エアトリップ (鹿追町) PSA15
- ヤンベツ川-リバーウォッチ (鹿追町) PSA15
- 大雪山国立公園(高原沼)-ハイキング (上川町) インタビュー/TREE LIFE 荒田ガイド(知事認定アウトドアガイド・夏山・冬山) PSA9
- 中村屋-温泉 (上士幌町) PSA9
- かの温泉-温泉 (鹿追町) PSA9
- 野湯鹿の湯-温泉 (鹿追町) PSA9
- 嵐山-ハイキング (鷹栖町) PSA9

視聴者の声 :

「大雪山国立公園で、以前バックカントリースキーで素晴らしい体験をしました」「良いですね！ストーリーをチェックします！」「最も美しい大地。この映像には全てがある！素晴らしい仕事！」「素晴らしい！ここに行って国立公園でハイキングすることが楽しみ」等

Day2 Keynote (基調講演)

(5) KEYNOTE: CHADO: THE WAY OF TEA 基調講演 「茶道」

(JST 9/20 (水) 02:00 -03:00 / PST 9/19 (火) 09:00 -10:00)

茶道の歴史を含む基本的な知識を学び、茶人である羽根石美香さんの茶道実演と、それぞれの所作の説明がされた。

- 日本では古くから四季を大切に、喜びと調和をもたらす自然に感謝の気持ちを表してきた。しかし都会の生活が発達するにつれ、私たちは近視眼的になり、私たちを取り巻く自然をもほとんど忘れてしまった。
- 茶道は、減速し、自然との繋がり、目の前の小さいけれど重要な事柄に気付く方法を教えてくれる精神修養。茶道は400年以上前に日本で生まれ、基本的な様式や形を変えずに今に伝わっている。
- 禅と抹茶は栄西によって日本に伝えられ、茶道の本質は禅の哲学に由来しており、16世紀に千利休によって現在の茶道の様式が完成し、多くの侍が彼の下で茶道を学んだ。戦の中で生き残らなくてはならなかった侍たちは、茶室で雑然とした心をやわらげ、自然の中の素朴な生活に感謝することを思い出していた。
- 茶事とは上級者により非常に複雑な手順で行われる、懐石のフルコースを含む4時間の集まりであるが、茶会はお茶を立てる部分だけを抜粋した、誰でもその本質を楽しめる簡素な儀式。
- 茶道では、先人たちが確立した特定の手順と規則を学ぶ必要があり、その手順と動きは機能的で効率的、かつ美しい流れのようにエレガント。
- 茶道では、ホストとゲストの両方がそれぞれの役割を担い、協力して茶会を成功へ導く。また茶道を実践することで、自尊心、集中力、規律、心の平安を育むことができる。



講師 : Mika "SOKA" Haneishi: Founder Shizu-kokoro Chado School

羽根石宗佳 静心茶道スクール

茶道歴25年。松本素生氏に師事し、日本とアメリカで多くの賞を受賞。世界最大級の茶道学校である裏千家茶道研究所の第一級指導員であり、日本の生徒を対象に初級から上級までのクラスを担当。

また、東京・浅草に「しずこころ茶道教室」を開設し、日本文化のユニークな要素である茶道を、ワークショップやセミナーを通じて世界中の人々に紹介している。